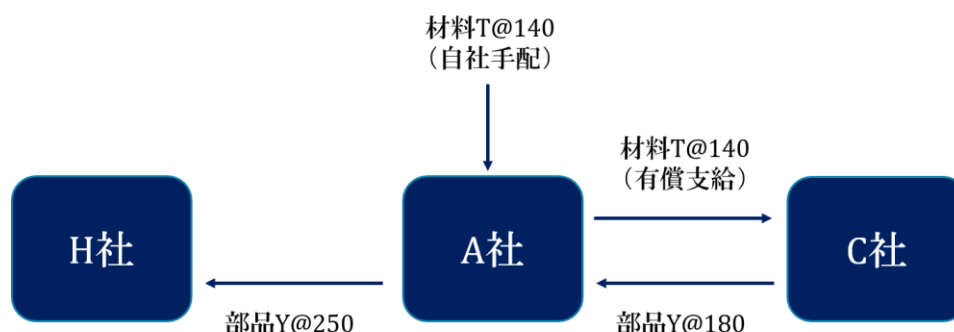


## 設例 2

自動車部品メーカーの A 社は、外注先 C 社に部品 Y の加工の一部を委託している。C 社への加工委託にあたっては、A 社が@140 円で自社手配した材料 T を@140 円で C 社に有償支給し、加工後の部品 Y を@180 円で買い戻している。C 社に有償支給した材料 T の所有権は支給した時点で C 社に移るが、当該材料 T は部品 Y の加工のみに利用することが契約上定められており、加工後の部品 Y は全量 A 社が買い取ることとなっている。その後、A 社にて部品 Y に更に加工を加え、自動車メーカーの H 社に@250 円で販売している。



### X1 期の取引

- ① 材料 T を 250 個 35,000 円 (@140 円) で外部より仕入れた。
- ② 材料 T のうち 150 個 21,000 円 (@140 円) を C 社に有償支給し、100 個が期末に A 社の材料在庫として残っている。
- ③ C 社において、部品 Y 100 個の加工が完了したため、A 社は 100 個 18,000 円 (@180 円) で購入した。支給した材料 T のうち 50 個は、C 社に残存している。
- ④ A 社の部品 Y のラインでは、労務費が 3,000 円、減価償却費が 1,500 円発生している。(材料費、労務費、減価償却費以外の製造原価は発生しないと仮定する。)
- ⑤ A 社は、C 社より買い戻した部品 Y 100 個のうち、80 個の部品が完成し、うち 50 個を H 社に 12,500 円 (@250 円) で販売した。A 社には、20 個の仕掛品 (加工進捗度 50%) と 30 個の製品在庫が残っている。
- ⑥ 期末在庫は以下の通りである。(期首在庫は存在しないと仮定する。)

	保管場所	在庫数	材料単価	外注加工単価	自社加工単価
材料 T	A 社	100 個	140 円	-	-
材料 T	C 社	50 個	140 円	-	-
仕掛品 Y	A 社	20 個	140 円	40 円	25 円
製品 Y	A 社	30 個	140 円	40 円	50 円

Q1. 貴社で実際に使用している勘定科目を使用して X1 期の仕訳を示してください。

① 材料 T 仕入時の仕訳

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額

② 材料 T の C 社への有償支給時の仕訳

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額

③ 材料 T を C 社から買い戻した時の仕訳

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
			0

④ 労務費及び減価償却費の計上

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
労務費（製）	3,000	現金預金	3,000
減価償却費（製）	1,500	減価償却累計額	1,500

⑤ 部品 Y の売上時

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額

⑥ 在庫の計上

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
材料（流動資産）			
仕掛品（流動資産）			
製品（流動資産）			

Q2. Q1の仕訳に基づきX1期末の決算書を作成してください。

**製造原価報告書**

材料費

期首材料棚卸高	_____	
当期材料仕入高	_____	
合計	_____	
期末材料棚卸高	_____	_____

労務費

減価償却費 \_\_\_\_\_

当期総製造費用 \_\_\_\_\_

期首仕掛品原価	_____	
合計	_____	

他勘定振替高 \_\_\_\_\_

期末仕掛品原価 \_\_\_\_\_

当期製品製造原価 \_\_\_\_\_

**損益計算書**

売上高 \_\_\_\_\_

期首製品棚卸高 \_\_\_\_\_

当期製品製造原価 \_\_\_\_\_

合計 \_\_\_\_\_

期末製品棚卸高 \_\_\_\_\_

売上総利益 \_\_\_\_\_

**貸借対照表**

材料 \_\_\_\_\_

仕掛品 \_\_\_\_\_

製品 \_\_\_\_\_

Q3. 新収益認識基準を適用した場合に考えられる仕訳を記載してください。

① 材料 T 仕入時の仕訳

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額

② 材料 T の C 社への有償支給時の仕訳

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額

③ 材料 T を C 社から買い戻した時の仕訳

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額

④ 労務費及び減価償却費の計上

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
労務費（製）	3,000	現金預金	3,000
減価償却費（製）	1,500	減価償却累計額	1,500

⑤ 部品 Y の売上時

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額

⑥ 在庫の計上

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
材料（流動資産）			
仕掛品（流動資産）			
製品（流動資産）			



A1. 貴社で実際に使用している勘定科目を使用して X1 期の仕訳を示してください。

① 材料 T 仕入時の仕訳

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
材料費	35,000	買掛金	35,000

② 材料 T の C 社への有償支給時の仕訳

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
未収入金	21,000	他勘定振替高	21,000

③ 材料 T を C 社から買い戻した時の仕訳

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
他勘定振替高	18,000	買掛金	18,000

④ 労務費及び減価償却費の計上

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
労務費	3,000	現金預金	3,000
減価償却費	1,500	減価償却累計額	1,500

⑤ 部品 Y の売上時

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
売掛金	12,500	売上高	12,500

⑥ 在庫の計上

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
材料（流動資産）	14,000	材料費	14,000
仕掛品（流動資産）	4,100	当期総製造費用	4,100
製品（流動資産）	6,900	当期製品製造原価	6,900

A2. Q1 の仕訳に基づき X1 期末の決算書を作成してください。

### 製造原価報告書

材料費

期首材料棚卸高	<u>0</u>	
当期材料仕入高	<u>35,000</u>	
合計	<u>35,000</u>	
期末材料棚卸高	<u>14,000</u>	<u>21,000</u>
労務費		<u>3,000</u>
減価償却費		<u>1,500</u>
当期総製造費用		<u>25,500</u>
期首仕掛品原価		<u>0</u>
合計		<u>25,500</u>
他勘定振替高		<u>3,000</u>
期末仕掛品原価		<u>4,100</u>
当期製品製造原価		<u>18,400</u>

### 損益計算書

売上高		<u>12,500</u>
期首製品棚卸高	<u>0</u>	
当期製品製造原価	<u>18,400</u>	
合計	<u>18,400</u>	
期末製品棚卸高	<u>6,900</u>	<u>11,500</u>
売上総利益		<u>1,000</u>

### 貸借対照表

材料	<u>14,000</u>
仕掛品	<u>4,100</u>
製品	<u>6,900</u>

A3. 新収益認識基準を適用した場合に考えられる仕訳を記載してください。

① 材料 T 仕入時の仕訳

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
材料費	35,000	買掛金	35,000

② 材料 T の C 社への有償支給時の仕訳

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
未収入金	21,000	有償支給に係る負債	21,000

③ 材料 T を C 社から買い戻した時の仕訳

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
有償支給に係る負債	14,000*	買掛金	18,000
他勘定振替高	4,000		

\* 有償支給時の支給単価 140 円×買い戻した 100 個

④ 労務費及び減価償却費の計上

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
労務費	3,000	現金預金	3,000
減価償却費	1,500	減価償却累計額	1,500

⑤ 部品 Y の売上時

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
売掛金	12,500	売上高	12,500

⑥ 在庫の計上

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
材料（流動資産）	21,000	材料費	14,000
仕掛品（流動資産）	4,100	当期総製造費用	4,100
製品（流動資産）	6,900	当期製品製造原価	6,900



A4. Q3の仕訳に基づきX1期末の決算書を作成してください。

### 製造原価報告書

材料費

期首材料棚卸高	<u>0</u>	
当期材料仕入高	<u>35,000</u>	
合計	<u>35,000</u>	
期末材料棚卸高	<u>21,000</u>	<u>14,000</u>
労務費		<u>3,000</u>
減価償却費		<u>1,500</u>
当期総製造費用		<u>18,500</u>
期首仕掛品原価		<u>0</u>
合計		<u>18,500</u>
他勘定振替高		<u>△4,000</u>
期末仕掛品原価		<u>4,100</u>
当期製品製造原価		<u>18,400</u>

### 損益計算書

売上高		<u>12,500</u>
期首製品棚卸高	<u>0</u>	
当期製品製造原価	<u>18,400</u>	
合計	<u>18,400</u>	
期末製品棚卸高	<u>6,900</u>	<u>11,500</u>
売上総利益		<u>1,000</u>

### 貸借対照表

材料	<u>21,000</u>	有償支給に係る負債	<u>7,000</u>
仕掛品	<u>4,100</u>		
製品	<u>6,900</u>		